

# ENDNOTE<sup>®</sup> オンライン



- パスワードで保護されたリファレンスライブラリでリファレンスを管理し、どこからでもアクセスできます。
- Web of Scienceをはじめ、PubMed、Google Scholar、CiNiiなどのオンラインデータソースからもリファレンスや全文をダウンロードできます。
- リファレンスライブラリを複数のコンピュータやiPad（無料アプリのインストールが必要）に同期できます。
- 同僚や世界中のユーザとリファレンスを共有できます。
- Microsoft<sup>®</sup> WordにCite While You Write<sup>™</sup>プラグインをインストールして、論文を執筆しながらリファレンスを挿入したり、引用文献リストのスタイル設定を行うことができます。
- その他、研究を支援するための多数の機能が利用可能です。

**EndNote オンライン**は、人気の高いデスクトップ用文献管理・論文執筆支援ソフトウェアEndNoteのオンライン版です。研究データの検索や更新、整理、リファレンス作成にかかる時間を短縮し、ニーズに応じた形で論文執筆をサポートします。Web of Scienceからの使用、EndNoteデスクトップ版との併用、もしくは単独での使用など、条件により利用可能な機能やオプションが異なります。

## EndNote basic

EndNoteデスクトップ版へのアクセス権を持たず、EndNoteオンライン版のみをご利用の場合、「basic」ユーザとなります。EndNoteオンラインをデスクトップ版と併用する場合に比べて利用できる機能は限定されますが、研究論文を書き始めたばかりの研究者や学生には、導入版として最適のツールです。

## EndNoteオンラインとデスクトップ版の併用

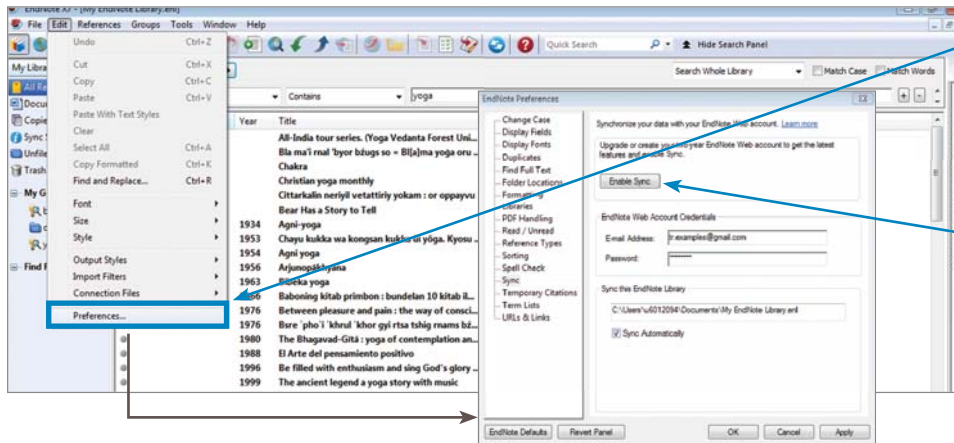
EndNoteデスクトップ版のユーザは「basic」ユーザが利用できないオンライン版の機能や多様なオプションにもアクセス可能です。

**Web of Scienceとの統合** – Web of Scienceのユーザは、EndNoteオンラインを使って、Web of ScienceからのデータやWeb of Scienceとの相互リンク等、追加の機能をご利用いただけます（Web of Scienceに定期的にサインインをすることが必要です）。



## ステップ ①: EndNoteアカウントを作成する

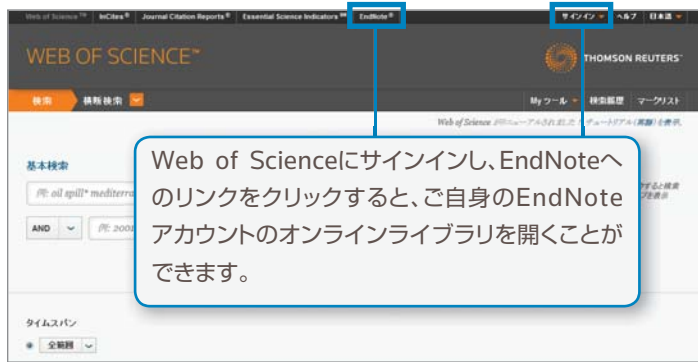
【デスクトップ版ユーザの場合】



デスクトップ版ユーザは「Preferences」メニューからEndNoteオンラインの設定を開始します。

「Preferences」->「Sync」から「Enable Sync」ボタンを選択します。アカウントの作成、またはアカウントがすでに存在する場合はEndNoteオンラインアカウントへのログインが要求されます。

【Web of Scienceユーザの場合】



Web of Scienceにサインインし、EndNoteへのリンクをクリックすると、ご自身のEndNoteアカウントのオンラインライブラリを開くことができます。

【無料アカウントの場合】



Web of Scienceのユーザでない場合は、my.endnote.comにアクセスし、無料のアカウントを新規作成します。



## ステップ ②: プラグインをインストールする

EndNoteアカウントに初めてログインすると、「入門ガイド」が表示され、レファレンスの収集、構成、フォーマットに役立つリンクが提示されます。

EndNoteの拡張機能を使用するには2種類のプラグインをインストールします。ブラウザからレファレンスを取得するためのプラグインと、オンラインライブラリをMicrosoft® Wordにリンクするためのプラグインです。プラグインをインストールするには、「オプション」タブをクリックし、「プラグインのダウンロード」を選択すると、入手可能なプラグイン一覧が表示されます。

EndNoteライブラリにレファレンスを自動的にインポートするには、「Capture Reference」ボタン(言語設定を英語にしてください)や、Internet Explorer(Windowsのみ)またはFirefox(Windows/Mac)用の「EndNote キャプチャ」ツールバーを使用します。

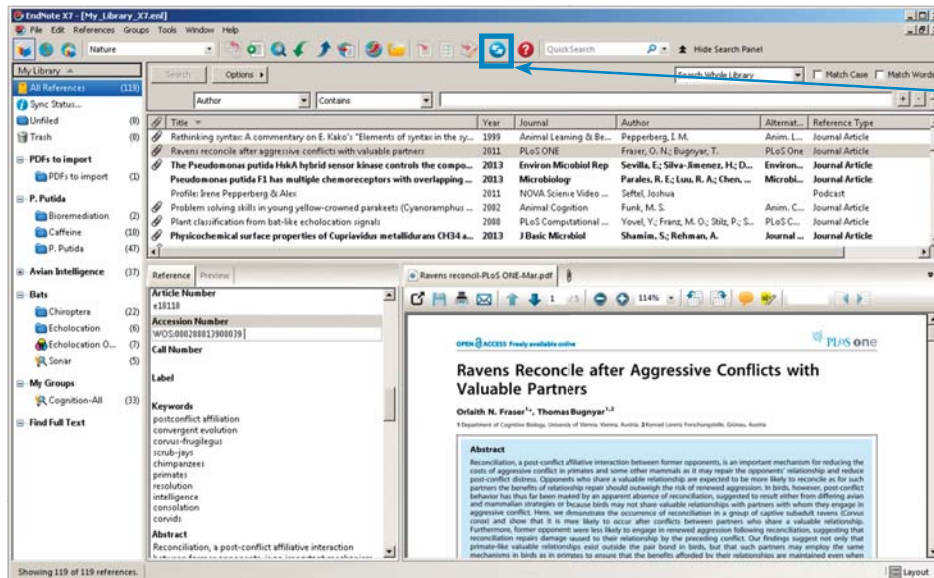
Wordで論文を執筆中にレファレンスを挿入したり、引用文献のスタイルの設定を行ったりする場合は、Cite While You Writeプラグインをダウンロードしてください。



## ステップ ③: ライブラリにレファレンスを追加する

以下の方法でライブラリにレファレンスを追加することができます。

### デスクトップ版との同期



「Preferences」メニューの「Sync」ページで EndNote オンラインアカウントを作成して入力すると、デスクトップ版ユーザは「Sync」ボタンをクリックすることで EndNote ライブラリをオンラインに同期できます。

「Sync」を利用すると、デスクトップまたはオンラインで行ったライブラリへの変更が即座にどのプラットフォームにも反映されます。この同期機能は iPad 用の EndNote アプリでも利用可能です。

### ダイレクトエクスポート



Web of Science などの一部のオンラインリソースでは、ドロップダウンメニューから「EndNote オンラインに保存」を選択し、検索結果を直接自身の EndNote ライブラリへ保存することができます。レファレンスは自動的に「未整理」グループに保存されます。

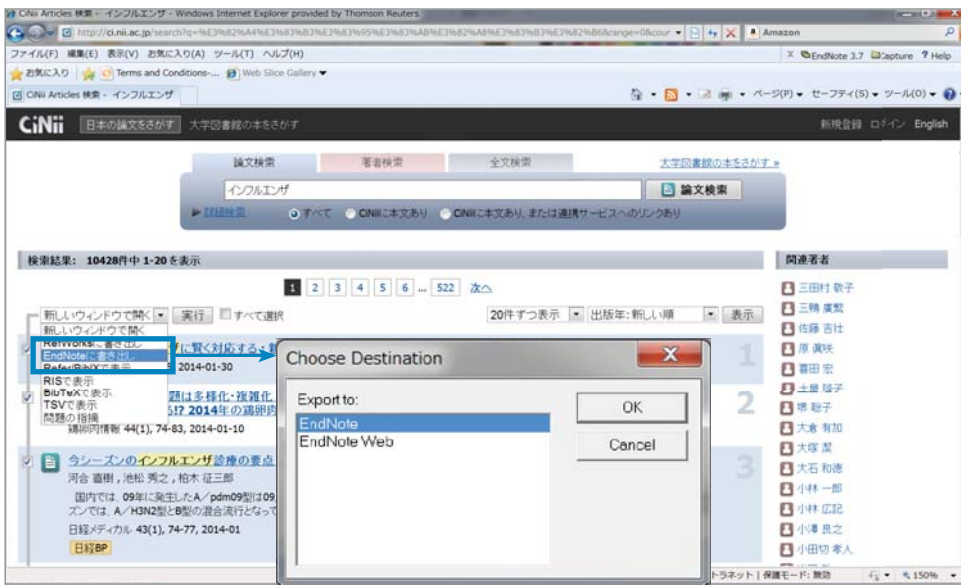
## オンライン検索



EndNoteのインターフェースからオンラインの図書館所蔵目録やデータベースを検索できます。

- 「収集」タブをクリックし、「オンライン検索」をクリック。
- アクセス可能なリソースを選択し、検索(別途契約が必要なリソースもあります)。
- 追加したいアイテムにチェックを入れ、ドロップダウンメニューからライブラリに追加。

## プラグインを使用したレファレンスの取り込み



RISフォーマットで、PubMed、Google Scholar、CiNiiなどのレコードをEndNoteにインポートすることができます。

- CiNiiの場合: EndNoteに書き出し->実行 -> Choose Destination -> 保存先を選んでOK
- PubMedの場合: Send to -> Citation Manager -> Create File -> Chose Destination -> 保存先を選んでOK
- Google Scholarの場合: 設定で [文献マネージャーを [RefMan] に設定、検索されたレコードの [RefMan に取り込む] をクリック。

## テキストファイルの取り込み

通常のテキストファイルのレファレンスをインポートするには、ファイル内のデータにタグを付け、読み込み可能な形式にする必要があります。

- 「収集」タブ内の「レファレンスのインポート」をクリック。
- インポートするファイルを参照。
- ファイルを作成したデータベースに適合するインポートフィルターを選択。
- 「インポート」ボタンをクリック。



- SciFinderの場合、Exportメニューの中のCitationManagerでCitation export format (\*.ris)を指定してエクスポート。
- 電子ジャーナルの場合、RefMan、RISもしくはEndNoteで保存。レファレンスを取り込む際のフィルターはRefMan RIS
- CiNiiの場合、[Refer/Bibtexで表示] -> 名前を付けて保存->ファイルの種類をテキストファイル -> エンコードでUnicode(UTF-8)で保存。レファレンスを取り込む際のフィルターはCiNii(ReferBibIXはCiNiiへのリンクバックなし)

## 手動入力



参考文献を手動で入力するには

- 「収集」タブ内の「新しいレファレンス」をクリック。
- レファレンスタイプを選択。
- 必要項目にデータを入力。主なスタイルガイドで一般的に使用されている項目が最初に表示されます。

## ステップ ④ : レファレンスを整理・共有する

### グループの作成

EndNoteはデフォルトでレファレンスを「未整理」フォルダに保存します。最大5,000グループまで作成できますので、各ユーザの慣れたやり方でレファレンスを整理することができます。

- 「構成」タブ内の「マイグループの管理」をクリック。
- 「新規グループ」ボタンをクリック。
- 作成した新規グループに名前を付ける。  
注:1つのレファレンスを複数のグループに保存することが可能です。特定のレファレンスが現在のどのグループに保存されているか確認するには、「フォルダ」アイコンをクリックしてください。



### 重複レコードの削除

ライブラリ内に重複レコードが存在する場合、「構成」タブ内の「重複の検索」で、重複レコードを検索し、削除することができます。EndNoteでは著者、年、タイトル、レファレンスタイプの項目を比較し、重複レコードを検索します。



### 他のEndNoteユーザとレファレンスを共有する

- 「構成」タブ内の「マイグループの管理」で共有したいグループの「共有の管理」ボタンをクリック。
- グループを共有したいユーザのメールアドレスを入力。  
注:グループを共有するユーザがレファレンスを閲覧するにはEndNoteアカウントが必要です。EndNoteアカウントで使用するメールアドレスを入力してください。
- 共有ユーザに許可するアクセスのレベルを、「読み取り専用」または「読み書き」から選択。  
- 「読み書き」のアクセスを許可されたユーザは、共有グループにおいてレファレンスの追加や削除が可能です。  
- 「読み取り専用」のアクセスを許可されたユーザは、レファレンスの閲覧のみ可能です。  
- 保存されたPDF等の添付ファイルは共有されません。
- 「適用」をクリック。



マイレファレンス  
すべてのマイレファレンス (177)  
[未整理] (18)  
クイックリスト (0)  
ごみ箱 (226) なし  
▼マイグループ  
Astronomy (0)  
Semiconductors (8)

他ユーザーと共有するグループ  
Caffeine (1)   
Satoyama (83)

あなたが他のユーザと共有しているグループには共有アイコンが表示されます。

他のユーザがあなたと共有しているグループは、「他ユーザと共有するグループ」ヘッダーの下に表示されます。

本と鉛筆のアイコンがある場合は、当該グループにおけるレファレンスの追加と削除が許可されていることを示しています。何もアイコンがない場合は、読み取り専用アクセスが許可されています。

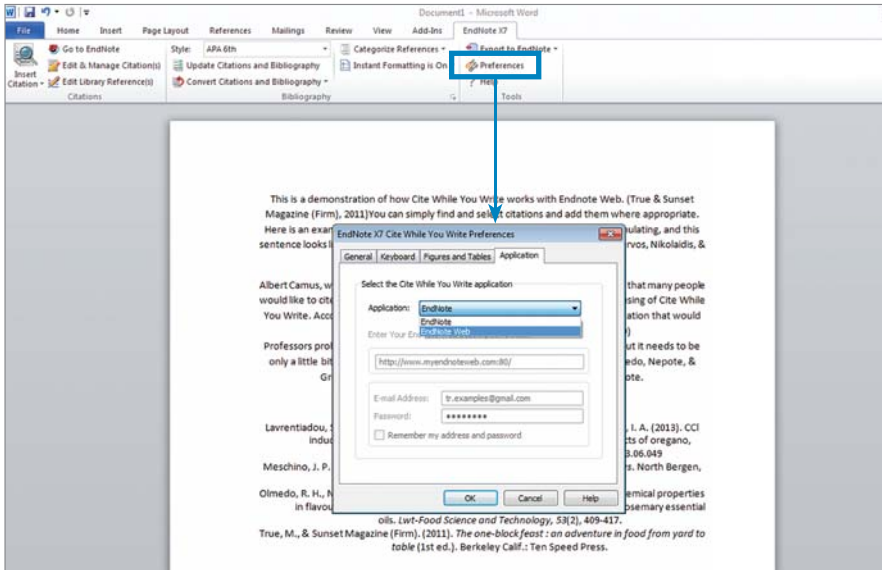
## ステップ ⑤ : Cite While You Writeプラグインを使用する

ステップ②でインストールしたCite While You Writeプラグインを使用して、Microsoft® Wordで論文の執筆中に参考文献を簡単に挿入したり、引用文献のスタイル設定を即座に行うことができます。

2. ワンクリックで原稿と引用文献リストのスタイルを再設定できます。書式は多数のスタイルから選択可能です。

1. 引用文献を検索・選択して、原稿に挿入できます。

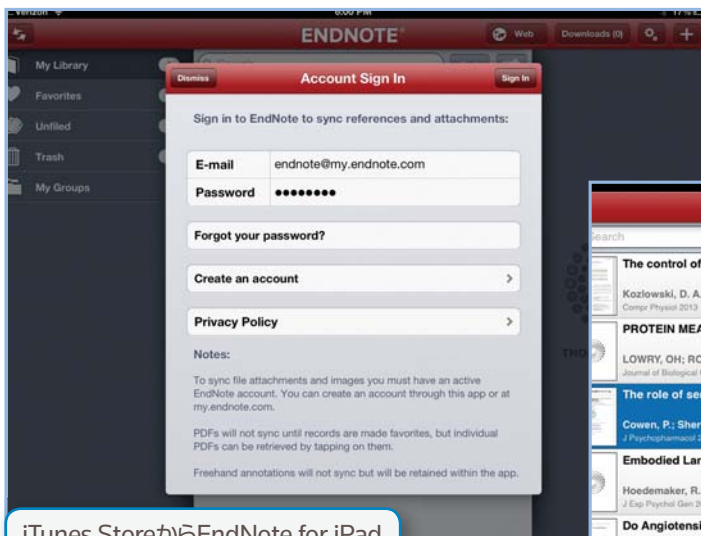
3. ページ番号を追加したり、複数の参考文献を1つの引用にまとめるなど、引用スタイルを編集することができます(デスクトップ版の機能)。



レファレンスをオンライン版とデスクトップ版の両方から呼び出せます。

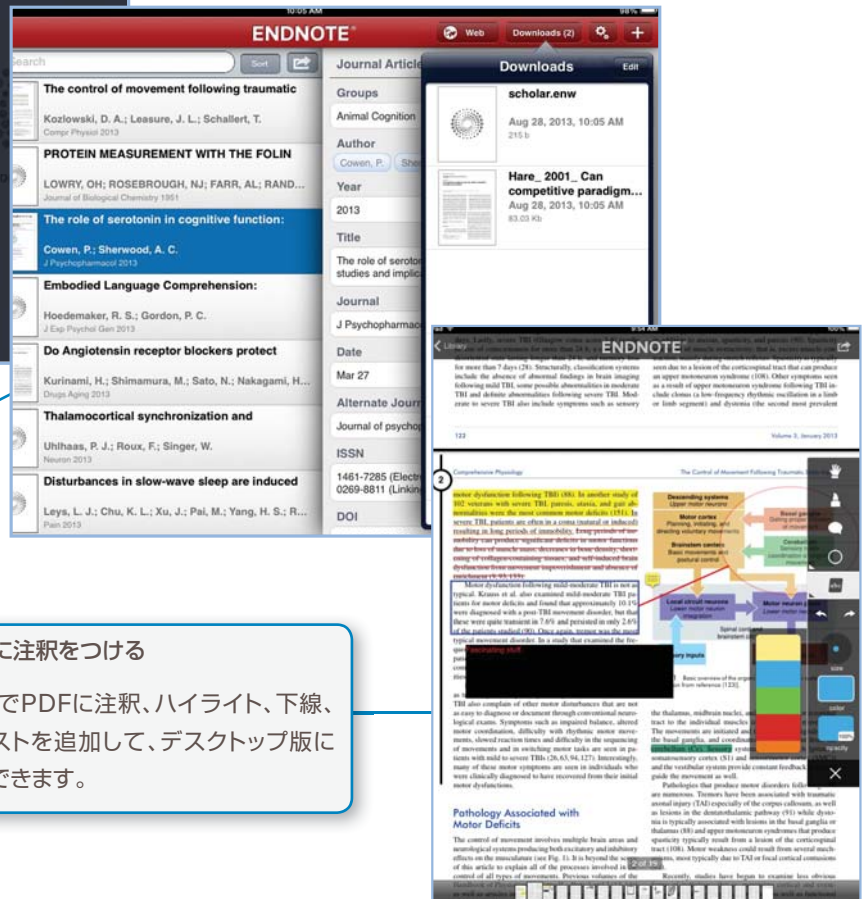
Cite While You Writeは、EndNoteのオンライン版とデスクトップ版のどちらとも互換性があります。従っていずれかの製品からライブラリを使用して文書の作成を開始し、「Preferences」からもう一方の製品に切り替えることが可能です。

## ステップ ⑥: iPadアプリを利用したEndNoteライブラリへのアクセスとライブラリの拡張



iTunes StoreからEndNote for iPadをダウンロードすると、どこからでもライブラリにアクセスできるようになります。EndNote for iPadからアカウントにログインし、以下の作業をすることができます。

- アプリの内蔵ブラウザからWeb of Science、Google Scholar、PubMedを検索してライブラリを拡張し、全文PDFをインポート。
- レファレンスの整理や新規グループの作成。
- PDFを共同研究者にメールで送信。
- 変更をデスクトップ版やオンライン版に同期。

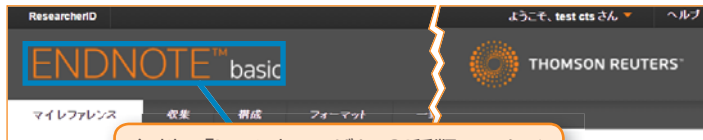


PDFに注釈をつける

iPadでPDFに注釈、ハイライト、下線、テキストを追加して、デスクトップ版に同期できます。

## 容量と機能

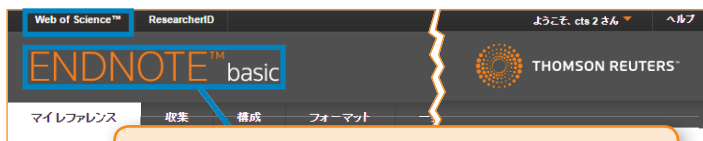
	保存可能レコード数	ファイル保存容量	Cite While You Write (Microsoft® Word)	引用文献のスタイル数	Web of Science データ・リンク
EndNote basicユーザ	50,000	2GB	限定機能	21	-
EndNote basic & Web of Scienceユーザ	50,000	2GB	限定機能	3300+	✓
EndNoteデスクトップ版ユーザ	上限なし	5GB	全機能	3300+	-
EndNoteデスクトップ版 & Web of Scienceユーザ	上限なし	5GB	全機能	3300+	✓



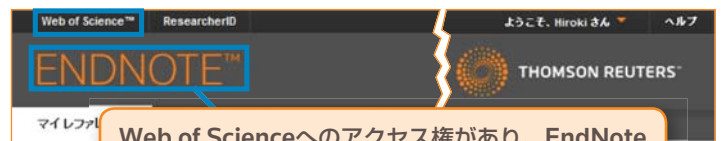
無料の「basic」ユーザも、21種類のスタイルと2GBのファイル保存容量が使用可能です。



EndNoteデスクトップ版のユーザで、3300種類のスタイルがあります。5GBの添付ファイル保存容量と全てのインポート、エクスポートが可能です。\*



Web of Scienceへのアクセス権があり、EndNoteオンライン版のユーザです。基本機能に加えて、3000種類のスタイルがあります。2GBの添付ファイル保存容量があり、引用回数などのWeb of Scienceのデータやリンクをライブラリで閲覧できます。



Web of Scienceへのアクセス権があり、EndNoteデスクトップ版のユーザです。3300種類のスタイル、5GBの添付ファイル保存容量に加えて、引用回数などのWeb of Scienceのデータやリンクをライブラリで閲覧できます。\*

\*デスクトップ版は6000種類のスタイルがあり編集も可能です。ファイルの保存容量も上限がありません。

### トムソン・ロイターのサポート

#### オンラインリソース

EndNote オンラインに関するユーザガイド、よくある質問やビデオガイドなどをご用意しております。コンテンツは随時追加、更新しています。  
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/enw/support/>  
<http://endnote.com/training> (英語のサイトですが、YouTube画像に日本語キャプションがあるものもあります)

#### 技術サポートが必要な場合は

オンラインサポート<<http://ip-science.thomsonreuters.jp/support/>>にアクセスし、よくある質問を検索、またはカスタマーサポートスタッフにご連絡ください。

### トムソン・ロイター

〒107-6119

東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル19F

ヘルプデスク: 03-4589-3107

フリーコール: 0800-888-8855 (9:30-18:00)

E-mail: [ts.support.jp@thomsonreuters.com](mailto:ts.support.jp@thomsonreuters.com)

Web: [ip-science.thomsonreuters.jp/support/](http://ip-science.thomsonreuters.jp/support/)

EndNoteの最も重要な強みのひとつは、知識豊富なユーザコミュニティです。トムソン・ロイターのツイッターやフェイスブック、カスタマーフォーラム(英語のみ)で世界中の何百万というユーザからフィードバックを得てください。

<http://community.thomsonreuters.com>

#### EndNoteデスクトップ版でのみ利用可能な主な機能

- 検索対象を特定したライブラリ内の詳細検索機能
- ライブラリ内のレファレンスの自動更新
- レファレンス全文の自動検索
- 重複文献の検索およびレファレンスの更新
- PDFや添付ファイルへの注釈・コメントの追加
- レファレンスや添付ファイルのメール送信
- PDF、フォルダ、サブフォルダのインポート
- PDFを自動的に追加する監視フォルダの指定
- リファレンスの主要項目の入力候補を自動表示
- フルタイトルもしくは短縮形を選べるジャーナルリスト
- 引用文献スタイルの作成およびカスタマイズ

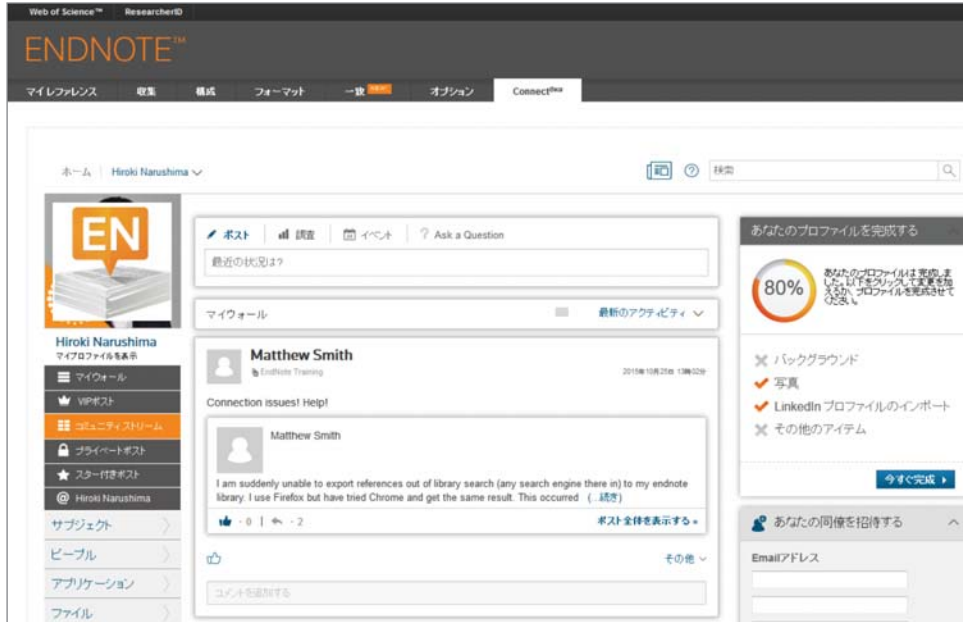




# ENDNOTEオンラインの新機能

new

## 世界中の研究者とつながる – Connect beta

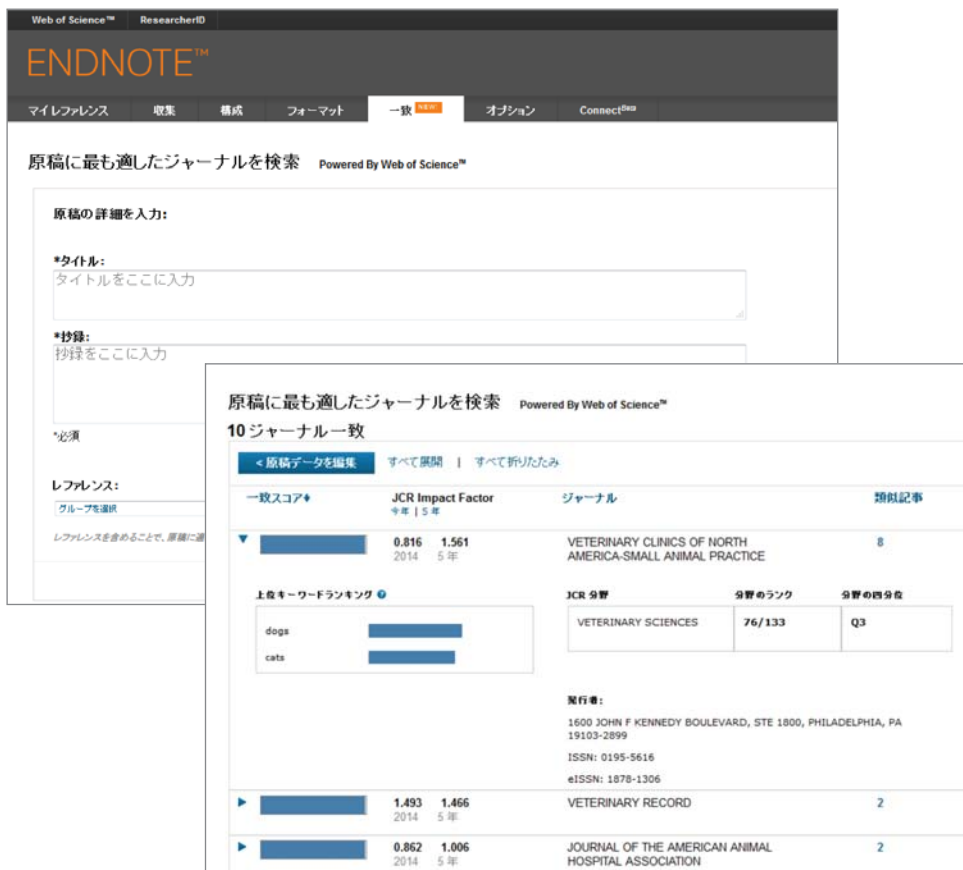


Connect (Beta) は、世界のEnd-Noteユーザーとつながることができます。

一般的なSNSのように、メッセージや質問をポストしたり、グループを作成してイベントの企画やファイルの共有、アンケート調査などができます。

EndNoteのエキスパートチームに質問をすることもできます。

## 投稿先ジャーナル推奨ツール



論文情報の主要部分(タイトル、抄録、レファレンス)を使用して、原稿に適したジャーナルを検索できるように支援します。

Web of Scienceの膨大なデータと引用分析から、執筆中の論文の投稿先として適したジャーナルを抽出します。

JCR® データ、主要ジャーナル情報、出版社の詳細を利用して、これまで見落としていたジャーナルを発見してください。

Web of Science の機能を活用して原稿の投稿先を決定できるのはトムソン・ロイターだけです。



トムソン・ロイター  
〒107-6119 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル19F

ヘルプデスク 03-4589-3107 フリーコール: 0800-888-8855 (9:30-18:00) E-mail: ts.support.jp@thomsonreuters.com

Web: ip-science.thomsonreuters.jp/support/

© 2015 Thomson Reuters 2015/10